

令和7年度

伊勢市わがまち写真コンクール

入賞作品集

令和7年度「伊勢市わがまち写真コンクール」入賞作品

【最優秀賞】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
久保 美波	向日葵と3こいち	麻吉旅館	—	—

【優秀賞】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
中北 幸宏	賑わう参道	外宮参道	—	—
高崎 一恵	遠い世界に思いを馳せて ～さるめ神社例祭（宵祭）～	猿田彦神社境内	—	—
門谷 若次	子供の日	東豊浜	—	—

【入 選】

氏名	作品名	場所	学校名	学年
福田 伊吹	宮川の鳥居	宮川堤	伊勢学園高等学校	2
大田 明弘	初夏の朝	伊勢神宮(内宮)正宮裏	—	—
濱地 琉杏	楽しい1日の終わり	伊勢市JR山田上口駅ホーム津方面	港中学校	3
西井 勇介	御樋代木外宮へ	外宮北御門	—	—
原口 ゆう子	真夏のせんぐう館	外宮	—	—
吉川 ひとみ	格子窓からの河崎のまちなみ	河崎商人館	—	—
三木 伸吾	空間包む	神宮徴古館	—	—
酒井 竣平	歴史に残る賓日館	賓日館	皇學館中学校	1
松井 春陽	歴史を見守る黒門	楠部町	皇學館中学校	2
石井 佑吾	睡蓮の池と連珠橋	金剛證寺	皇學館中学校	3

〈総 評〉

今年は伊勢市の市制20周年、景観コンクールの10周年にあたるということ、誠におめでとうございます。記念すべき年に選考委員をさせていただき、とても嬉しく思います。

コンクール10周年ということで「伊勢市の美しい景観を巡ろうツアー」という、これまでの景観コンクールで応募作品の題材となった場所をバスで巡る企画も開催されました。その効果もあったのか、非常に多くの作品をご応募いただき、その数は137点と、これまでで最多の応募数でした。誠にありがとうございました。

ところで、市展や県展をはじめ多くの写真コンテストは写真の内容に制限はありませんが、このコンクールの募集要領には、「わたしの好きな伊勢市の景観」というテーマが設定されています。そして、その例として、「伊勢市内のまちなみ、歴史的建築物、自然風景、来訪者におすすめしたい場所、その他残したいと思う伊勢市の風景」とされています。こういった「わたしの好きな」場所の写真を撮り、一人ひとりが景観に対する意識を持ってもらうことで、「景観に親しみを持ち、大切に気づき、新たに発見してもらうこと」を目的としています。

私は、そこにいる人が幸せであってこそその「わたしの好きな」景観であると考えています。これまでの歴史を学ぶことによって、これからの方が幸せになるかも知れません。そこにある景観は、放っておいてもきれいで印象的な景色ではなく、誰かの努力で保たれているものかも知れません。

一枚の写真を撮ることで、これまでは意識していなかったかもしれない「伊勢市わがまち」をご自身が意識されたのではないかと思います。そんな「伊勢市わがまち」を、どのように捉え、工夫して表現されたかをじっくり考え、選考いたしました。

これからも、写真を撮ることで「伊勢市わがまち」を意識し、その景観について考えていただけることを願います。

【選考委員】JRP 日本リアリズム写真集団会員 向原知宏

【最優秀賞】



向日葵と3こいち

(撮影場所)

麻吉旅館

久保 美波

【コメント】

凜とした向日葵をみつけて記念に。

【選評】 お二人の娘さんと向日葵の、笑顔のスリーショットが映える、麻吉旅館の写真です。伝統的な建物の落ち着いた色調の中に、「麻吉」暖簾と黄色い花、そして子どもたちの生き生きとした姿が鮮やかなアクセントとなっています。向かって右の娘さんのポーズが決まりきっていないところが、写真に動きを感じられていいと思います。旅館の前で撮った何気ない記念写真かも知れませんが、伊勢市は、こんな幸せな写真が撮れる、歴史的な素晴らしい街だということを表現していると思います。いつまでもこんな写真が撮れる街であって欲しい、残したいと思う風景です。

【優秀賞】



賑わう参道

(撮影場所)

外宮参道

中北 幸宏

【コメント】

浴衣姿で賑わう8月1日の外宮参道の一コマ、夏を楽しむ姿をカメラに収めました。

【選評】人力車、浴衣姿、「伊勢うどん」の看板。賑わう外宮参道を、現代的な街並みと伝統的な風情を見事に融合し表現した佳作です。もちろん、要（かなめ）は画面右上にある「行灯」です。その文字を全て画面に入れることなく、さらりと「道」の文字だけ見せるのが心憎いです。広角レンズで画面の手前から奥まできっちりとピントを合わせ、視線を自然に奥の人々へと導く画面構成も、基本的な写真技術の高さを感じさせます。

【優秀賞】



遠い世界に思いを馳せて
～さるめ神社例祭（宵祭）～

（撮影場所）

猿田彦神社境内

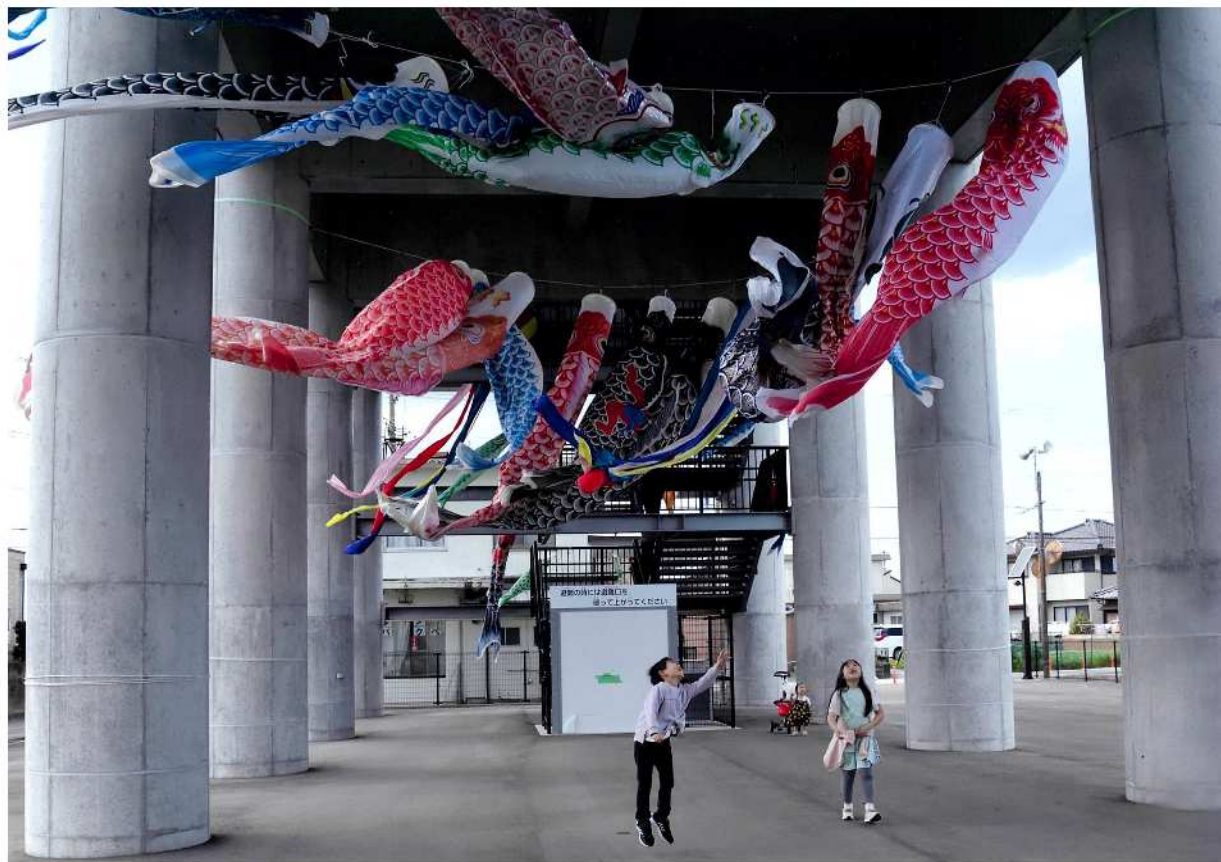
高崎 一恵

【コメント】

良縁・芸能・鎮魂の神、天宇受売命（あめのうずめのみこと）のお祭りです。全国から献灯された提灯の明かりや舞踊の音楽に包まれていると、遠い地域や神話の時代に想像を巡らせずにはられません。

【選評】さるめ神社は例祭になると、たくさんの提灯が飾られます。作者はこれら提灯を、手前の一つをアクセントにし、その列を巧みに配置することで奥行きある表現をされました。赤と白の灯りが夜の闇に映え、境内の奥行きを強調するとともに、光の連なりによって生まれるリズム感が印象的な一枚です。祭りの賑わいと神域の厳かさがよく表現されていると思います。

【優秀賞】



子供の日

(撮影場所)

東豊浜

門谷 若次

【コメント】

津波避難タワーの存在を知ってもらおうと飾り付

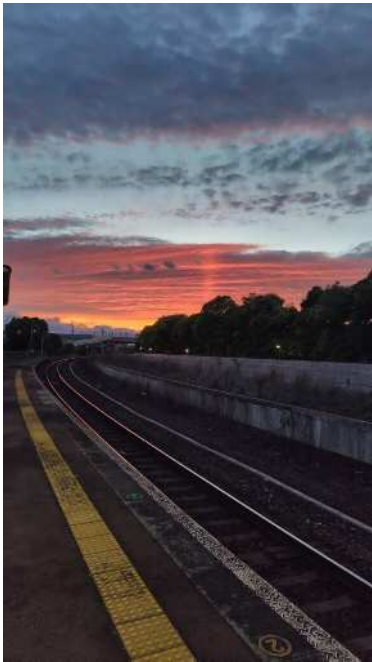
【選評】先日カムチャツカ半島付近で地震があり、三重県でも津波警報が発令されました。使わなくてよいならそれに越したことはありませんが、津波避難タワーは必要と思います。そのタワーで、こんなふうに鯉のぼりを飾り、地域に存在をアピールする取り組みがあることを初めて知りました。無機質で実用的な建造物の下に、色鮮やかな鯉のぼりと元気な子どもたちという対照的な姿が印象的です。跳びはねる子どもと鯉のぼりを見上げる姿が加わることで、未来への希望や命を守る尊さが伝わってきます。まさに「子供の日」を表現した佳作と思います。

【入選】

	宮川の鳥居
	(撮影場所) 宮川堤
	福田 伊吹
【コメント】 宮川に桜を見に行ったときに雰囲気綺麗だなーと思って撮ってみたら上手く撮れたのでお気に入りの写真です	

	初夏の朝
	(撮影場所) 伊勢神宮（内宮） 正宮裏
	大田 明弘
【コメント】 伊勢神宮（内宮）の正宮裏の荒祭宮参拝しようと歩いていたら、神官の方が立ち止まり一礼されていた。気が引き締まる思いで荒祭宮を参拝できました。	

【入選】

	楽しい1日の終わり
	(撮影場所) 伊勢市 JR 山田上口駅 ホーム 津方面
	濱地 琉杏
【コメント】 野球クラブがオフの日に仲良しで津南に遊びにでかけた帰りにみた空があまりにもキレイで撮影しました。	

	御樋代木外宮へ
	(撮影場所) 外宮北御門
	西井 勇介
【コメント】 たくさんの人によって木曽の御杉山から運ばれてきた御樋代木が外宮の宮域に向かっている姿が、これから遷宮に向けてスタートしていくという状況を表しているように感じたから。	

【入選】



真夏のせんぐう館

(撮影場所)
外宮

原口 ゆう子

【コメント】

暑い日、ミストシャワーに癒されました



格子窓からの河崎の
まちなみ

(撮影場所)
河崎商人館

吉川 ひとみ

【コメント】

連なる屋根の風景がタイムスリップしたみたい。

【入選】

	空間包む
	(撮影場所) 神宮徴古館
	三木 伸吾
【コメント】 唯一撮影ができるこの広間には神宮徴古館のシンボルともいえる縦長の3連窓があり格調高い構造です。天井にある大きな梁がアーチになっているので、空間が包みこまれるような感じを1枚の写真で表現してみました。	

	歴史に残る賓日館
	(撮影場所) 賓日館
	酒井 竣平
【コメント】 僕が初めて興玉神社に連れて行ってもらった時、ふと目を引かれたのが賓日館で、1つの建築なのに、明治・大正・昭和という3つの時代の高い建築技術が観られる貴重な建築物でした。門をくぐった瞬間、歴史を感じる景観に時を忘れていたことを思い出します。来年4月から耐震工事が始まり、しばらく入館できなくなるのでここで撮影しました。	

【入選】



歴史を見守る黒門

(撮影場所)
楠部町

松井 春陽

【コメント】

いつも登校する時に前を通る黒門は、どっしりとしていて歴史が感じられ、伊勢の素晴らしい景観の一つだと思ったので、黒門を撮影しました。



睡蓮の池と連珠橋

(撮影場所)
金剛證寺

石井 佑吾

【コメント】

たくさんの緑と連珠橋の赤が綺麗だったのでここを選びました。